

実施報告書

現地訓練（近畿ブロック）



主催：一般財団法人 自治体国際化協会
実施受託：特定非営利活動法人 多文化共生マネージャー全国協議会

1. 目 的

近年、災害が多発しており、災害時に地域における外国人支援体制の強化が急務であることから、災害時に外国人支援に従事する自治体（都道府県・政令指定都市等）や地域国際化協会の職員等を主な対象者として災害時多言語支援センター設置・運営訓練を実施することで、災害時に外国人支援に従事する関係者のスキルアップと広域支援ネットワークの構築を図る。

2. 業務内容

近畿ブロックにおける災害時多言語支援センター設置・運営訓練の実施に係る以下の業務

- (1) 日程・会場決定
- (2) 研修企画・事前打ち合わせ
- (3) 会場手配
- (4) 申込依頼・参加者とりまとめ、参加者名簿の作成
- (5) 外国人協力者の手配監理
- (6) 研修・訓練の資料準備
- (7) 研修・訓練の物品等準備
- (8) 会場設営
- (9) 研修・訓練の実施
- (10) 報告書作成

3. 実施日時・会場

日時：令和4年11月12日（土）10時～16時

会場：兵庫県立神戸生活創造センター

4. 対象・定員

地域国際化協会連絡協議会近畿ブロック協会の職員・関係者

近畿ブロック内の災害時外国人支援情報コーディネーター

その他実施団体が認める関係団体の職員等 40名程度

5. 研修テーマ

近畿ブロック内における災害時外国人支援に係る広域連携

6. 実施内容・スケジュール

挨拶 (一財)自治体国際化協会 多文化共生部長 清水 隆教

講義 「災害時の外国人支援とは」

講師 地域国際化推進アドバイザー 勝谷 知美 氏

((一財) 熊本市国際交流振興事業団 事務局長)

訓練 「神戸市外国人専用相談窓口」の開設・運営 (演習)

「ひょうご多言語広域支援センター」の設置・運営 (演習)

講師 地域国際化推進アドバイザー 高木 和彦 氏

ふりかえり・講評

講師 地域国際化推進アドバイザー 高木 和彦 氏

《プログラム》

時間	神戸市外国人専用相談窓口 (KICC・神戸市)	ひょうご多言語広域支援センター (HIA・近畿ネットワーク・その他)
11:00 ～11:30	訓練内容の説明	
11:30 ～12:00	相談窓口開設 ・実施体制の構築 (別紙1) ・看板の作成 (別紙2) ・プレスリリース作成 (別紙3) ・外国人の被災状況確認 (別紙4)	応援体制 (役割分担) の検討 ①神戸市相談窓口の応援 ②神戸市以外の外国人被災者対応
12:00～13:00 ◆ 休憩 ◆		
13:00 ～14:30	窓口運営 ・外国人被災者からの相談対応 (別紙5) ・災害情報・支援情報の収集 (別紙6) ・巡回先の選定および班編成 (別紙7)	神戸市以外の外国人被災者対応 ・各市への連絡方法の検討 } (別紙8) ・各市外国人の状況の把握 ・各市からの応援依頼への対応
14:30 ～14:45	避難所等の巡回準備 ・班別の打ち合わせ	←
14:45 ～15:30	避難所巡回 ・班別による巡回	
15:30 ～15:55	ふりかえり・まとめ	

7. 実施結果

今回の近畿ブロック研修については、同ブロック副会長（公財）神戸国際コミュニティセンターから、委託元（一財）自治体国際化協会へ、訓練内容について「災害時の外国人支援の基礎と演習」という要望が寄せられたため、近畿ブロック内でのネットワーク等を鑑み、より実践的な枠組みとなるよう綿密に訓練内容を決定した。今回は、感染対策を十分に行った上、外国人市住民にも協力いただき、巡回訓練も行った。

訓練当日は、被災自治体としての初動から「神戸市外国人専用相談窓口」の立ち上げと、広域支援の初動「ひょうご多言語広域支援センター」の同時進行で行い、それぞれの連携などの確認なども行われ、臨場感あふれる訓練となった。

また、数年ぶりの対面での訓練となり、参加者同士の交流も活発に行われ広域ネットワークの構築を図ることができた。

8. 参加団体一覧

都道府県名	団体名	参加者数
和歌山県	(公財)和歌山県国際交流協会	1名
滋賀県	(公財)滋賀県国際協会	1名
京都府	京都府 国際課	1名
	(公財)京都府国際センター	1名
	(公財)京都市国際交流協会	1名
	城陽市国際交流協会	1名
大阪府	(公財)大阪府国際交流財団	2名
	(公財)大阪国際交流センター	2名
兵庫県	(公財)兵庫県国際交流協会	1名
	兵庫県産業労働部国際局国際課	1名
	神戸市長室国際部国際課	3名
	神戸市危機管理室	1名
	長田区総務部まちづくり課	4名
	長田区保健福祉部保健福祉課	1名
	(公財)西宮市国際交流協会	1名
	(公財)神戸国際コミュニティセンター	12名
合計	16団体	34名

9. 参加者の声（アンケート（別添）から）

- ・顔を合わせて皆ですべきこと、今後の課題などを共有できる大変良い機会でした。どうもありがとうございました。今後、近畿ブロックの災害時研修でも今日の気づきを共有、課題の検証を進めていきたいと思います。
- ・実際の経験を聞かせていただいたり、シミュレーションしたりしたことで、具体的な業務が想定できた。
- ・実際の被災があった時どのようなことが起こるのか知ることができました。またどのような流れで他団体に依頼しないといけないかなども勉強になりました。
- ・作業よりも気づきの多い訓練となりました。近畿クリアの枠組みや手引きなど市町村も理解するべきかと思いました。
- ・自分たちのセンターの準備不足、勉強不足を感じました。今日の研修をきっかけに職員間で勉強していきたい。

10. 記録写真

<開会挨拶：清水>



<講義：勝谷氏>



<訓練の様子>



令和4年度 災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修・訓練事業
【現地訓練・近畿ブロック】アンケート 集計結果（集計：30人）

Q1 基本情報

1. ご所属

- ・都道府県 : 2人
- ・政令市 : 7人
- ・府県協会 : 8人
- ・市協会 : 12人
- ・災害時外国人支援コーディネーター : 1人

2. 災害時外国人支援関連事業の経験年数

- ・1年未満 : 17人
- ・1年以上～2年未満 : 5人
- ・2年以上～3年未満 : 1人
- ・3年以上 : 6人

Q2 講義の内容について理解いただけましたか。

- ・よく理解できた : 21人
- ・だいたい理解できた : 9人
- ・あまり理解できなかった : 0
- ・ほとんど理解できなかった : 0

《理由》

- ・ときどき専門用語がわからなかった。
- ・実際の避難所解説の状況、困りごとがよく分かった。
- ・熊本市の事例が大変勉強になりました。区役所の各計画やマニュアルに外国人対応について反映していきたい。
- ・実例に基づいたものだったので、わかりやすかった。
- ・説明はわかりやすい。
- ・講義は大変わかりやすく、巡回訓練も大変勉強になりました。
- ・とても分かりやすかったです。
- ・被災支援をされた実体験に基づいたお話でよく分かった。
- ・わかりやすい。おもしろい。
- ・勝谷さんのお話は整理されていて、改めて災害支援の本質を考えさせてもらいました。ありがとうございました。
- ・近畿ブロックの災害時の具体的な動きがイメージできた。
- ・熊本市での災害対応について、実体験を基に紹介いただいたので、具体的なイメージできた。
- ・シミュレーションにより危機感を持って挑むことができた。
- ・実際の被災があった時どのようなことが起こるのか知ることができました。またどのような流れで他団体に依頼しないといけないかなども勉強になりました。
- ・実際に発災された支援をされた方のお話を聞いて、本当に勉強になりました。
- ・実際の経験に基づくお話は大変参考になった。

Q3 講義で新たに知ったことや気づいたことはありましたか。

- ・たくさんあった : 25人
- ・少しあった : 5人
- ・あまりなかった : 0

《理由》

- ・足りない部分、理解できていない部分と改めて実感することができました。
- ・まだまだ事前準備ができていないので、いざという時に動けない。
- ・実際の経験を聞かせていただいたり、シミュレーションしたりしたことで、具体的な業務が想定できた。
- ・取り組むべきことが、明確にできていた。
- ・マニュアルはある程度準備していても、実際に動けないことを改めて認識した。
- ・県との（日頃からの）コミュニケーションの重要性。近ブロの支援体制。
- ・勝谷さんの熊本のサポーターの役割など新しい取組み、また、震災時の気持ちなどを知ることができた。
- ・熊本の実体験に基づくお話を聞くことができたから
- ・複数被災市の状況確認のやり方や広域支援についてのヒントがあった。
- ・実際の避難所開設のお話がとてもためになりました。
- ・被災者役の留学生たちの話が印象に残った。
- ・今まで通訳として支援に参加していたが、支援センターの運営についてあまり知らなかったです。
- ・支援センターを立ち上げた際には、その記録をしておくことが必要と知ったから。
- ・実際に体験した方が講師をされたため。
- ・はじめて参加したので。

Q4 訓練での内容、ご自身での役割についてご理解いただけましたか。

- ・よく理解できた : 15人
- ・だいたい理解できた : 14人
- ・あまり理解できなかった : 1人
- ・ほとんど理解できなかった : 0

《理由》

- ・まだまだ学ぶことが多い。
- ・訓練の前提説明をもう少しつめた方がいいと思います。
- ・県としての役割を再確認した。
- ・近畿ブロックの役割について大変勉強になった。
- ・訓練の前提、設定などの説明が最初にあつたらよかった。
- ・帰ってからもう一度しっかり振り返って理解しておきたい。
- ・最初、分かりにくいところがあつたけど、だいたいわかつた。
- ・通訳のこと
- ・自分の地域に反映させる点がありました。
- ・できていない所がたくさんあるが、解決すべき課題について見えてきたと思う。
- ・今後の対策や役割が明確になった。
- ・思っていた以上に巡回が難しいことがわかりました。それがわかるためにも、日ごろの訓練が大切と思いました。
- ・みんなを守る、自分自身も守る。

Q5 訓練についての感想、今後の訓練

- ・参加者が、今何をミッションに作業しようとしているか、もう少しレクチャーがあつた方がわかりやすいです。一部、何をしているのか、役割を理解できていない時間がありました。
- ・訓練の機会をもっといただきたいと思います。
- ・ベテランの方々がたくさんアドバイスを下さってとても勉強になりました。
- ・少なくとも一年に一度は訓練を実施して、いざという時に備えたい。

- ・近畿ブロックのこうした実践的訓練をお願いいたします。
- ・現地訓練の時に少し手持ちぶさたになる時間があったので、もう少しイベントがあってもよいのではと思いました。
- ・顔を合わせて皆ですべきこと、今後の課題などを共有できる大変良い機会でした。どうもありがとうございました。今後、近畿ブロックの災害時研修でも今日の気づきを共有、課題の検証を進めていきたいと思います。
- ・作業よりも気づきの多い訓練となりました。近畿クレアの枠組みや手引きなど市町村も理解するべきかと思いました。
- ・被災市協会、広域協会、近畿ブロックにわかれての訓練。
- ・自分たちのセンターの準備不足、勉強不足を感じました。今日の研修をきっかけに職員間で勉強していきたい。
- ・機会があればまた参加したい。本日はありがとうございました。
- ・全職員参加してもらいたい。
- ・前半部分、会場が狭く、声がよく響いたので、あまり声が聞こえづらく、共有が難しかった。外国人対象講座も見学したかった。
- ・講師の説明がとても分かりやすかったです。また、災害時外国人支援とはいえ、周りの日本人避難者にも配慮が必要なことなどを知れてよかったです。
- ・勉強になりました。近ブロの方のお題が少なかったなので、どのような問題があるのかをもう少し知りたいです。
- ・訓練というよりも研修という印象を受けました。実践的な訓練をするのであれば、神戸市外国人専用窓口の立ち上げや運営についてのマニュアルを整備し、この後、このような訓練とすれば効果的だと思います。
- ・定期的を実施した方が良い。有事のために。

以上